

## 学会記事

### § 2016年度春季大会報告

1. 2016年度春季大会は3月30日(水)に日本獣医生命科学大学において盛会裏に行われた。前日の29日(火)には、編集委員会、産学交流促進委員会、国際交流委員会、将来構想委員会、若手幹事会、選考代議員会、理事会が、当日には一般講演、評議員会、常務理事会、総会、ランチョンセミナー、優秀発表賞授与式が行われた。

(大会委員長 対馬宣道会員、一般講演58題、参加者180名)

2. 理事会・評議員会および総会で報告、決定された主な事項は以下のとおりである。

#### (1) 大会関係

○2016年度秋季大会は、静岡県総合研修所もくせい会館において9月15~16日に開催される予定である(大会委員長 笹浪知宏会員)。

#### (2) 賞関係

○審査員の評価に基づいて常務理事会で審議した結果、2016年度春季大会では、第1会場：牛山愛会員(筑波大院)「ニワトリ精子膜ラフトの生化学分析と機能性の検討」および西村佳会員(信州大院)「ニワトリ回腸における陰窩絨毛軸に沿ったL細胞の動態」、第2会場：角田省二会員(株)林原「プロイラーへのトレハロース給与によるモモ肉加熱臭の評価」および細川結貴会員(東京農工大院)「暑熱条件下における採卵鶏卵殻腺部の炭酸脱水素酵素4発現特性」にそれぞれ授与することが決定され、総会終了後に授与式が執り行われた。

○平成27年度日本家禽学会賞および奨励賞には推薦がなかった。

#### (3) 日本農学会関係

○平成27年度日本農学大会は平成28年4月5日(火)に東京大学山上会館で開催された。また、平成28年度日本農学会シンポジウムは東京大学弥生講堂において「山と農学—山の日」というテーマで開催される予定である。

#### (4) 日本学術会議関係

○第23期日本学術会議畜産学分会から協力依頼があれば対応することとした。

#### (5) 産学交流促進委員会関係

○平成27年9月9日(水)に公開シンポジウム「肉用鶏生産におけるアニマルウェルフェアの現状と課題」を開催した。

○賛助会員の企業案内等の配架を継続して行った。

○平成28年9月15日(木)に公開シンポジウム「鳥類における発生工学および遺伝子組換え技術の現状と産業への新展開(仮題)」を開催する予定である。

#### (6) 日本家禽学会将来構想委員会関係

○新たに制定されたシニア会員と海外特別会員の入会の推移を注視し、その後の対応を考えることとした。

○国際的な情報発信を行うための検討をしている。編集委員会と合同で、PubMedへの掲載、研究倫理の問題を整理中である

○将来的な国際学会の開催を国際交流委員会および若手幹事会と議論することを始めた。

○年2回の大会開催が妥当であるかを検討する。また、海外会員獲得や英語によるサービス及び情報発信など、事務局の事務量の増加に対して負担を軽減する体制に関して検討を始める。

#### (7) 国際交流委員会関係

○WPSA ニュースレターに日本家禽学会活動記事を掲載している。また、記事内にて、海外会員枠のアナウンスと入会の呼びかけを行っている。

○第25回世界家禽会議(WPC2016)は北京で開催される。すでに発表要旨の受け付けは終了している。この会議に関して、一名の若手会員より渡航費の補助申請があった。選考の結果、一年以内のJPSへの投稿を条件に一部補助を行うことを決定した。

○第11回アジア太平洋家禽学会(APPC2018)はバンコクで開催予定である。

○第26回世界家禽会議(WPC2020)はパリで開催予定である。

○2017年度の信州大学にて開催予定の秋季大会で、近隣諸国から講演者を招聘し、ミニ国際シンポジウムの開催を検討している。

#### (8) 広報委員会関係

○学会とJPSを広報する英語版のリーフレット2,000部を作成した。

○学会ホームページ日本語および英語版のデザインを更新した。

○学会ホームページに掲載するバナー広告の募集を検討する予定である。

#### (9) 若手幹事会関係

○平成28年度春季大会でランチョンセミナー「題名：肉用鶏の生産性を高める鶏舎LED光線管理システムの開発」を開催した(3月30日(水)、出席者 約60名)。

○平成29年度春季大会でランチョンセミナーを開催する予定である。

#### (10) 家禽学用語集編集委員会関係

家禽学用語集第1版を編集して学会ホームページに掲載し、現在、会員からの修正を継続して受け付けている。今後、出版の方向を検討している。

#### (11) 選考代議委員会報告

平成28および29年度の役員候補者と評議員候補者を選出するための選考代議員を平成27年11月に以下の通り選出した。

投票総数 144 (投票率 23%) 選考代議員(地域別 11名)  
喜多一美(北海道・東北)、小川博、太田能之、佐藤幹、田島淳史(関東)、木野勝敏、後藤直樹、村井篤嗣(中部)、本田和久(近畿)、吉村幸則(中国・四国)、古瀬充宏(九州) また会長指名によって常務理事から1名(桑山岳人)を選出した。平成27年12月から平成28年3月にかけて、計4回のメール会議を経て、最終会議(平成28年3月29日)で候補者を選出し、理事会、評議員会、総会で認められた。

決定された役員、評議員および各種委員は以下のとおりである。

会 長 : 高橋和昭

副 会 長 : 後藤直樹、古瀬充宏

常務理事 : (庶務) 佐藤 幹、桑山岳人

(会計) 田上貴寛、大津晴彦

(編集) 大久保武、古田洋樹

理 事 : 喜多一美、太田能之、岡田 徹、小川 博、  
田島淳史、木野勝敏、村井篤嗣、本田和久、  
吉村幸則

監 事 : 小野珠乙、半澤 恵、村上 斉

#### 評 議 員 :

東 善行、豊水正昭、力丸宗弘、甲斐 藏、脇 雅之、  
佐々木啓介、菅原邦生、葦澤圭二郎、對馬宣道、  
坂 恒豊、内藤 充、横山次郎、笹浪知宏、鏡味 裕、  
神 勝紀、杉山稔恵、只野 亮、中川次郎、中村明弘、  
榛澤章三、平松浩二、藤村 忍、松下浩一、吉村 崇、  
松田洋一、美濃口直和、森 誠、上曾山博、巽 俊彰、  
八田 一、龍田 健、斉藤 昇、西堀正英、橘 哲也、  
河上眞一、豊後貴嗣、都築政起、松本由樹、山田博之、  
大塚 彰、仁木隆博、岡本 新、前田芳實、  
Vishwajit Sur Chowdhury、西村正太郎、下桐 猛

WPSA 日本支部セクレタリー : 後藤直樹

WPSA 日本支部カウンセラー :

2012-2020年 古瀬充宏、田島淳史、後藤直樹

2016-2024年 高橋和昭、本田和久、佐藤 幹

編集委員長 : 豊後貴嗣

副編集委員長 : 本田和久

編集委員 : 西堀正英、力丸宗弘、藤村 忍、村上 斉、  
太田能之、大塚 彰、橘 哲也、友永省三、平松浩二、  
笹浪知宏、齋藤 昇、杉山稔恵、Vishwajit Sur Chowdhury、  
佐々木啓介、村井篤嗣、喜多一美、喜久里基、井尻大地、  
中村明弘、神作宜男、塚田 光、田島淳史

将来構想委員長 : 古瀬充宏

将来構想委員 : 太田能之、大塚 彰、小川 博、喜多一美、  
松下浩一、村井篤嗣、吉村幸則、横山次郎

産学交流促進委員長 : 岡田 徹

産学交流促進委員 : 伊藤博史、木野勝敏、佐藤 幹、  
巽 俊彰、中嶋眞一、藤村 忍、村上 斉、横山次郎

国際交流委員長 : 後藤直樹

国際交流委員 : 小野珠乙、田島淳史、林 義明、  
古瀬充宏、吉村幸則、Vishwajit Sur Chowdhury

広報委員長 : 吉村幸則

広報委員 : 河上眞一、堀田友美

若手幹事 : 大津晴彦(代表)、喜久里基(代表)、  
石井俊行、井尻大地、佐藤慎一、實安隆興、白石純一、  
中村隼明、松枝朝子、松本由樹、美濃口直和、水島秀成、  
村井篤嗣、力丸宗弘

## (12) 会員の移動

平成 28 年 2 月 29 日現在の会員状況

(平成 27 年 2 月末日からの増減)

名誉会員	10 名	(	)
A 会員	123 名	(+5	-16)
B 会員	194 名	(+23	-26)
A 学生会員	14 名	(+5	-5)
B 学生会員	54 名	(+23	-14)
A シニア会員	1 名	(+1	)
B シニア会員	3 名	(+3	)
海外特別会員	3 名	(+3	)
合計	402 名	(+63	-61)
A 賛助会員	24 社	(	)
B 賛助会員	11 社	(	)
賛助会員合計	35 社	(	)
総計	437	(+63	-61)

## (13) その他

○外国人特別会員の発足にともない、大会要旨に英文タイトルを掲載する。同様に、各賞の受賞タイトル、シンポジウムのタイトルなども英文タイトルを記載することを決定とした。それに伴い、大会申込み時に、日本語タイトルだけでなく英語のタイトルも記載する形式を取る。英文タイトルの作成が困難である場合には庶務幹事が中心になって作成し、編集委員会が補助することとした。

○規約の改正に関して

会費の未納者に関して、現在の規約では「除名」となっていたが、処分が厳しすぎるとの意見があり、「強制退会」との文言に規約を変更することが認められた。

改正点は以下の通りである。

日本家禽学会規約

### 第 8 条 強制退会

会費を滞納したものは、評議員会の議を経て強制退会させることができる。

### 第 9 条 除名

本会の名誉を毀損するようなことのあったものは、評議員会の議を経て除名することができる。

以下、第 9 条を第 10 条に、第 10 条を第 11 条に順次繰り下げる

附則

1. この規約は 2015 年 9 月 10 日から施行する。

日本家禽学会細則

6. 会員の強制退会および除名に関する事項

附則

この細則は 2015 年 9 月 10 日から施行する。

○科研費の申請に関して

本年度の科研費を「国際情報発信強化」の種目で提出した。次期秋季大会時に、事務局、編集、広報、国際交流の各委員長で国際情報発信強化の統一した方策に関して相談することになった。また、これに伴い、学会の著作権ポリシーおよび調達ポリシー（いずれも内規）を策定することとした。

○AAAP の事務局より後援の依頼があり、これを承認した。

○AAAP で開催されるワークショップ「Gut mucosal functions and health in poultry（家禽の消化管粘膜の機能と健康）」の後援の依頼があり、これを承認した。

○今後の大会開催予定

2016 年度秋季 静岡大学

2017 年度春季 神戸大学

2017 年度秋季 信州大学

2018 年度春季 未定（畜産学会開催場所を予定）

2018 年度秋季 東北大学

2019 年度春季秋季 未定（畜産学会開催場所を予定）

## (14) 編集関係

○The Journal of Poultry Science 誌第 52 巻 2 号～第 53 巻 1 号、日本家禽学会誌 52 巻 J1・J2 号、ニューズレター 16・17 号、講演要旨 2 冊（春季大会号・秋季大会号）を発行した。

○The Journal of Poultry Science の 2015 年インパクトファクターが公開された（IF=0.802）。

○投稿規程の改定について

JPS の Instruction for Authors に Supplementary Information に関する項目を追加した。また、投稿時に Preferred reviewer を 2 名推薦することを義務化することとした。投稿区分を変更した。

○編集体制および Section Editor の権限を見直した。

○PubMed 申請 WG を立ち上げた。

○SE のフォローとバックアップについて検討する。

○著作権ポリシーの策定を検討した。

○和文誌投稿規程の改定を検討した。

○Advance publication の随時公開を検討する。

## (15) 会計関係

○平成 27 年度の一般会計の決算報告書が承認された。また、平成 27 年度の国際家禽会議記念基金特別会計および

西川畜産奨学特別会計の決算報告書がともに承認された。  
○平成 27 年度の一般会計および特別会計決算書の収入および支出の細目について勘定明細書、預金帳簿残高、など照合のうえ監査を行った結果、いずれも適正に運用されており、法的にも問題のないことが監事から報告された。  
○平成 28 年度の一般会計予算案および平成 28 年度国際家禽会議記念基金特別会計予算案および西川畜産奨学特別会計予算案が、審議の結果原案どおり承認された。また今後、科研費が採択された場合には、特別会計とすることが了承された。

### § 日本家禽学会名誉会員の決定について

理事会・評議員会・総会の審議・承認を得て、島田清司会員を名誉会員として推戴することが決定された。

### § 科研費「国際情報発信力強化」に関して

本年度申請の科研費は、残念ながら不採択であった。今後、各種委員会と連携して、再度申請を行う予定である。会員の皆様のご意見、ご助力をお願いしたい。

### § 2017 年度日本家禽学会賞および同奨励賞候補者の募集について

2017 年度両賞の受賞候補者推薦を募集します。締め切りは 2016 年 12 月 30 日（金）で、期日までに選考規程を参照して候補者の推薦をお願いします。なお、奨励賞については 2017 年 4 月 1 日現在において、満 40 歳以下の方が対象となります。本年度は両賞の推薦がなかったことから、検討をして頂きたい。

### § 日本家禽学会技術賞候補者の募集について

日本家禽学会技術賞候補者の推薦を受け付けておりますので、奮ってご推薦下さい。なお、技術賞の受賞の対象は、日本家禽学会細則第 3 条の(4)により、「家禽産業の発展に寄与する新技術を開発した者あるいは新技術および新発想を積極的に経営に導入し成果を上げている者」となっております。推薦者は日本家禽学会の会員に限りますが、候補者はこの限りではありません。

推薦時に必要な書類：

①候補者（団体の場合は代表者）の氏名、生年月日および所属、候補者の略歴（表彰歴を含む）（団体の場合は 団体名および設立年月日）、推薦者の氏名および所属を示す

もの。

②業績概要（2,000 字以内）

③業績内容を示す資料：研究業績（別刷）、経営資料、特許、実用新案、公刊図書など。（別刷またはコピーを 7 部添付。ただし、業績が 5 編を越える場合は主要なもの 5 編の別刷りまたはコピーで可。）

候補者推薦の締切：2016 年 7 月 31 日（日）（当日消印有効）

書類の送付先：

〒305-0901 茨城県つくば市池の台 2

農研機構 畜産研究部門内 日本家禽学会事務局

### § 日本農学賞受賞候補者の推薦について

日本農学会から平成 28 年度の日本農学賞受賞候補者の推薦依頼がある予定である。下記の要領によりご推薦下さい。

提出書類：

1) 推薦書：候補業績、候補者氏名、所属および職名、

候補者略歴（生年月日、学歴、職歴）、推薦理由

2) 業績概要：業績題目、所属、図表および主要研究業績  
詳しくは日本農学会ホームページ <http://www.ajass.jp/> を参照して下さい。

締 切：2016 年 8 月 31 日（水）必着

提出先：日本家禽学会事務局

### § （公財）農学会農学進歩賞候補者の推薦について

人類と多様な生態系が永続的に共生するための基盤である農林水産業およびその関連産業の発展に資するために、農学の進歩に顕著な貢献をした者に対し、標記の賞が授与される。受賞対象者は当該年度の 10 月 1 日時点で 40 歳未満の者となっている。農学進歩賞には、大学の学部長、研究機関の長、あるいは農学系学協会の長が毎年 1 名に限り推薦できることとなっている。日本家禽学会長の推薦を必要とする方は、2016 年 6 月 30 日（木）までに必要書類を日本家禽学会事務局に提出して下さい。日本家禽学会常務理事会、理事会等で審査を行い、推薦の可否を決定する。詳しくは（公財）農学会のホームページ <http://www.nougaku.jp/> を参照して下さい。